

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 三橋中「授業規律5カ条」の実践による学習成果の向上
- 教員の創意を生かした授業の工夫と改善
- 家庭学習の習慣化と、「学び続ける姿勢」の涵養

＜本年度の学力向上策＞

- 1 学力向上の基盤となる授業規律の確立
 - (1) 三橋中「授業規律5カ条」を継続的に実践する。
 - (2) チャイム3分前着席、チャイム始業を徹底する。
- 2 授業の工夫・改善
 - (1) 各教科における「基礎的・基本的事項」を明確にして、その定着を図る。
 - (2) 良い授業4つの因子に基づいて、生徒の実態に応じた授業の工夫・改善を図る。
 - (3) 「特別の教科道徳」を着実に実施、授業改善と評価方法の研究については、小・中一貫教育の中で、小学校と連携して進める。
- 3 家庭学習の習慣化
 - (1) 「学習の手引き」の中に、教科ごとに家庭学習のポイントなどを内容とした「家庭学習のすすめ」を掲載し、積極的な活用を促すことで学習内容の向上を図る。
 - (2) 理科（授業時数増）については、基礎学力強化テスト（年6回）、TT授業の実施等により基礎学力及び科学的思考力の向上に取り組む。
 - (3) 「三橋中チャレンジスクール」と連携を図り、学習アドバイザーの増員、漢字検定の実施日数の増加などの改善の成果を、生徒の学習習慣の確立に役立てる。
- * 上記1～3に対する数値目標として、学校評価生徒アンケートの次項目を活用予定。
 - 「授業は楽しくわかりやすいですか」に対する肯定的回答90%以上
 - 「真剣に授業に取り組んでいますか」に対する肯定的評価90%以上
 - 「家庭学習ができていますか」に対する肯定的回答80%以上
- 4 全国学力・学習状況調査等の活用
上記「授業の工夫・改善」および「家庭学習の習慣化」に関しては、全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果を積極的に活用する。特に、次の2点を踏まえ、その分析、活用を図る。
 - (1) 本校の各教科の成果と課題を分析し、全担当教員で実態を把握し有効活用方法を検討する。
 - (2) 生活習慣調査の解答を分析し、学力と生活習慣との相関関係に着目しながら具体的な活用方法を検討し、生活・学習習慣の改善に役立てる。

＜本年度の振り返り＞